

施設紹介

社会福祉法人
松美会

平成7年、彦島地区の特別養護老人ホームとして開設されました。シニアスイスイ、デパート、ホームヘルプサービス、訪問介護サービス、訪問入浴サービスなど様々なサービスも充実し、高齢者の生活を支えています。また、高齢者の健康増進を図るため、定期的に健康診断や運動会、地域交流の場としてグラウンドゴルフ大会を開催しています。



特別養護老人ホーム アイユウの苑

〒750-0092 山口県下関市彦島3丁目17番2号（施設長：松永 紀子）
TEL：083-266-8267 FAX：083-266-7276

下関市彦島にある特別養護老人ホーム「アイユウの苑」が、今年から取り組み始めた地域貢献活動事業についてご紹介します。

グラウンドゴルフで、
はつらつ健康ライフ！「第1回 アイユウの苑杯
グラウンドゴルフ大会」の
開催

「特別養護老人ホーム アイユウの苑」の設立15周年を記念した「第1回 アイユウの苑杯グラウンドゴルフ大会」が、彦島地区総合運動公園多目的広場で開催されました。彦島地域のグラウンドゴルフクラブ「ヒコットランドクラブ」が主催し、その後援として「アイユウの苑」が賞品などを用意し運営を支えます。



今回の大会には彦島地区のグラウンドゴルフ愛好者18名が参加。ヒコットランドクラブ会長森下さん、アイユウの苑事務局長辻中さんによる開会

挨拶の後、参加者全員で記念撮影を行い、いよいよゲームがスタート。グラウンドゴルフは基本的にゴルフと同じルールですが、高度な技術が必要とせず、誰もが楽しめるスポーツです。グラウンドに設置された8つのホールを決められた打順で回り、専用のクラブでボールを打ってホールポストに入れるまでの打数を競います。

ゲームは、個人戦を3回（24ホール）、団体交通戦を1回行います。当日は、グラウンドの状態がブルーに濁っていたこともあり、皆さん日頃の練習の成果を存分に発揮され、ホールインワンが頻出するなど、競技中もグラウンドのあちこちから歓声が上がっていました。



その後、くじ引きで賞品が当たる「お楽しみ抽選会」などもあり、会場は大いに盛り上がりました。



競技は着々と進み、昼過ぎには全ての競技が終了。成績が集計された後、表彰式が行われました。成績上位10名やホールインワン達成者には様々な賞が用意されており、入賞者にはカップと賞状、賞品が贈られました。優勝者には、森下会長からインタビュが行われるといったサプライズもあり、終始笑顔と拍手の絶えない表彰式となりました。



別れ際「また次もぜひいしましょうね」と声を掛け合う参加者や、早くも「次回の大会が楽しみ」との声も聞かれ、初めてのグラウンドゴルフ大会は大成功に終わりました。

第2回の開催は平成23年春。今後とも回数を重ね、彦島地区高齢者の地域交流の場として大会を継続させていこうと、活動はますます盛り上がりを見えています。

（取材日：平成23年10月）

誰もが楽しめる
恒例行事を目指して

ヒコットランドクラブ
会長 森下 幸人さん

きっかけは長府地区で行われたグラウンドゴルフ大会です。実際に自分が参加し、「地元彦島地区でもこうした、高齢者が共に集い、グラウンドゴルフを楽しむ場所を作りたい」と大きな刺激を受けました。幸いにも、同じ大会に協賛参加されていたのが、「松美会アイユウの苑」の開通法人であったこともあり、今回念願の大会を開催することができました。「家」に近いところも高齢者を減らし、皆で集まる場所を作り、交流や生きがい、設立したい」という思いが、今少しずつ実現しています。現在、彦島地区高齢者のグラウンドゴルフ競技人口は200人程。個人で活動されている方や初心者の方にも是非この大会に参加して頂きたいですね。今後、何年も続く恒例行事として大会を定着させ、参加者を増やし、皆で楽しむことが目標です。

地域の中での
社会福祉法人の役割とは

アイユウの苑
事務局長 辻中 浩司さん

地域の皆さんが生き生きと活動される場所を提供すること、地域の皆さんの笑顔を作っていくことが私たちの社会福祉法人の社会的使命のひとつだと考えています。今後大会を通じて、彦島地区の高齢者の皆さんの健康維持・増進やそれぞれの地域においても交流を深め、活力に満ちあふれた日々の生活の基礎をつくって頂きたいと思っています。その他の地域貢献活動としては、関連施設の「アイユウの苑ゆめタウン」で、喫茶サービス（喫茶）を行っており、利用者の方に好評を得ています。我々も始めたばかりで、まだまだ活動を模索中ではありますが、今後も積極的に地域社会へ出向き、溶け込み、地域社会の一員として、その活動場所の創設・拡大に努めていきたいと思っています。